



杉 浦 敏 議員

## 消防の広域化に対する 市の考え方は

問

消防の広域化について、  
県案では海部地域の5消防  
組合が一つになるが、次の  
点について尋ねる。

- (1) 迅速な消防活動ができるのか等、問題を検証すべきと思うが、市はどのような考えでやっていくのか。
- (2) 広域化の必要がないと考えれば、そこから抜けることはできるのか。

答 市長

行政コストの削減が  
求められると考える

(1) 今後5カ年で整備をして、協議する段階である。経費負担等の基本的な問題がまだされていない。これからの課題という中で広域化を進めていく。

答 防災安全課長

基本的には行政コストの削減、事務効率の改善ということが当然求められると考えている。

- (2) 広域化でなくても、ペナルティーはないと思っている。

航空機騒音はチェック  
体制が必要ではないか

問

航空機騒音改善を、共産  
党議員団等が10月に中部  
国際空港へ申し入れた。

6月と9月、好天で視界が良好にもかかわらず、午後11時以降に市上空を航空機が通過〔注〕した。  
飛行経路変更の乱用がな  
いかをチェックする体制が  
必要ではないか。

要望にきちんと回答を取る  
必要があるのではないかと  
【注】通常は夜間運用で伊  
勢湾に迂回する。

今後も騒音対策を  
要望していきたい

答 市長

8月に国・県・中部国際  
空港へ直接出向き①海上旋  
回による飛行時間帯の拡大  
②電波障害対策に取り組む  
こと―の内容で要望書を提出  
した。

また運行経路の問題は各  
航空会社に対しても徹底を  
依頼し、CATV事業に対  
する補助金も要望した。

近々向こうの回答書を確認  
していきたいと思う。

今後も市民の生活環境の  
保全を図るため、航空騒音  
対策を要望していきたい。

ごみ焼却場の溶融  
スラグ処分費は

問

20年度、八穂クリーンセ  
ンターでできる溶融スラグ  
（焼却灰を高温溶融して  
できる固化物）は、市分とし  
て1,242tが返される  
が、次の事項を尋ねる。

- (1) 各市町村の分担方法。  
処分費、搬出先。

答 環境課長

1t当たり平均  
3万3,000円

- (1) 20年度、海部地区環境  
事務組合全体の見込み量は  
1万1,971tである。  
同組合処理分を除く8,1  
71tが、ごみ搬入量に応じ  
て各市町村に返還される。
- (2) 同組合処理分は知多市  
の公社等で処理し、t当たり  
約1万3,000円である。  
残りは各市町村が各自の  
最終処分場で引き取るか、  
同組合に別途処理費（1t当  
たり平均3万3,000円。  
搬出先は大府市等）を支払っ  
て処理を委ねることになる。